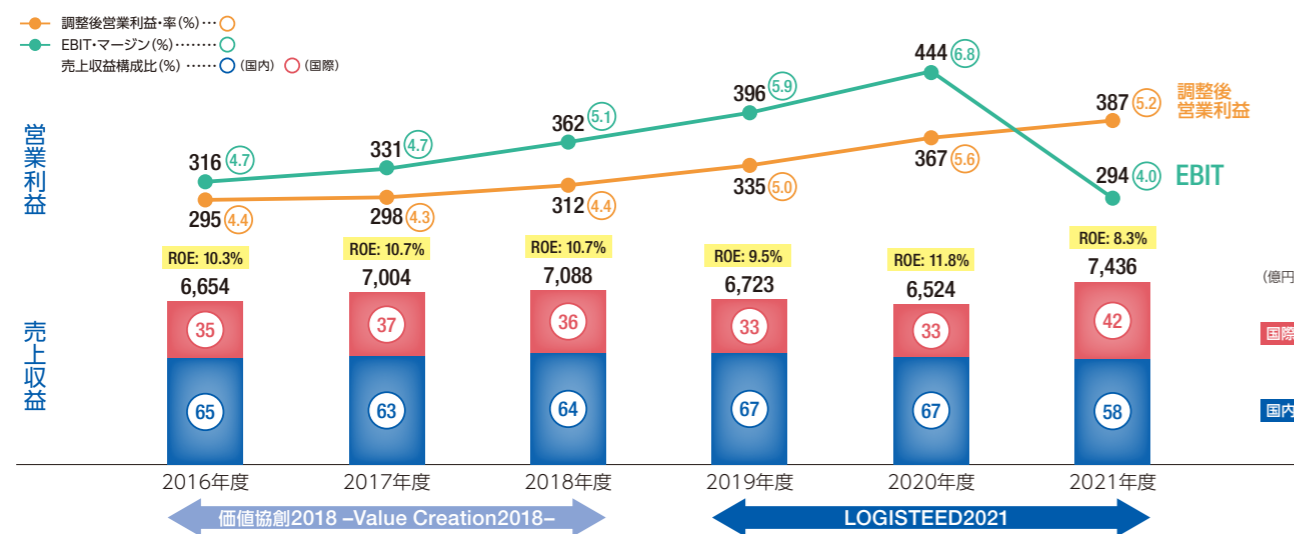


LOGISTEED2021の振り返り

日立物流グループは、中期経営計画「LOGISTEED2021」において、グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダをめざし、さまざまな「協創」を通じた課題の解決と「価値」の創出に取り組んできました。その結果、2021年度は過去最高の売上収益と営業利益を達成しました。

中期経営計画 -LOGISTEED2021-	
対象年度	2019年度～2021年度
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強固なコア領域(スマートロジスティクス領域)構築のためのM&A・アライアンスも含めたポートフォリオ戦略の実行 ・ コア領域を強化するとともにさらなる領域拡大へとつなげる協創戦略の実行 ・ 物流領域を基点/起点としたサプライチェーンのデザイン ・ トップライン成長戦略の実行 ・ 次世代につながるオペレーションオリジン(現場主義)とその継承 ・ 環境・社会・ガバナンスと企業倫理
実績	売上収益:7,436億円 調整後営業利益:387億円 EBIT:294億円 ROE:8.3%

業績の推移

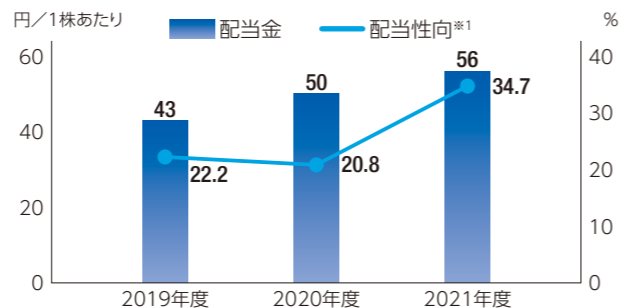


非財務指標の推移

年度	2019	2020	2021
CO ₂ 排出量(万t-CO ₂) ^{※1}	12.0	11.3	11.1
エコカー保有率(%) ^{※2}	100	100	100
労働災害発生率 ^{※2}	0.93	0.78	0.88
労働災害強度率 ^{※2}	0.013	0.019	0.017
女性管理職比率(%) ^{※3}	4.7	4.9	5.5
コンプライアンス研修の実施回数 ^{※2}	30	25	19

※1 日立物流、国内グループ会社(スコープ1および2の合計)
 ※2 日立物流、国内グループ会社
 ※3 日立物流のみ

1株あたり配当金の推移



年度	2019	2020	2021
当社TSR ^{※2}	106.7	168.1	300.3
配当込みTOPIX	99.6	141.5	144.3

※1 配当性向:1株あたり配当額÷(親会社株主に帰属する当期利益/期中平均株式数)
 ※2 2017年3月末日の株価を100とした指数

TSR(株主総利回り)はTOPIXをアウトパフォーム

重点施策の実施状況

1 強固なコア領域(スマートロジスティクス領域)構築のためのM&A・アライアンスも含めたポートフォリオ戦略の実行

- 「金流×商流×情流×物流」イノベーション実現 … (株)日立オートサービス株式40%を日立キャピタル(株)(現 三菱HCキャピタル(株))に譲渡(2019年2月)
- 3PL拡大につながるフォーワーディング事業強化 … 日新運輸(株)100%と(株)エーアイティー株式20%を株式交換(2019年3月)
- ポートフォリオ見直し … (株)日立トラベルビューロー(現 (株)HTB-BCD トラベル)株式70%をBCDに譲渡(2019年7月)
- 物流機材のシェアリングサービス提供 … 日立オートモティブシステムズ(株)(現 日立Astemo(株))よりパレネット(株)株式70%取得(2019年8月)
- 荷主の物流業務の一貫元請け体制強化 … (株)日立ライフ(現 (株)日立リアルエステートパートナーズ)の流通サービス事業を譲受(2020年4月)
- SGホールディングスグループとの戦略的資本業務提携一部変更 (2020年9月)

2 コア領域を強化するとともにさらなる領域拡大へとつなげる協創戦略の実行

協創戦略	主な協創パートナー
■ フォワーディングと3PLの連携による価値創出	エーアイティーグループ、A.P. Moller-Maersk
■ 輸送デジタルプラットフォームの事業化	三菱HCキャピタル(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)
■ DX推進、物流の高度化、自動化・省力化設備の導入拡大	KDDI(株)、Kyoto Robotics(株)、(株)Mujin
■ 3PLと宅配サービスのワンストップ提供、アセットシェアリングによる相互効率化	SGホールディングスグループ



3 物流領域を基点/起点としたサプライチェーンのデザイン

- DX戦略の策定(2021年1月)
- 経済産業省「DX認定事業者」に選定(2021年5月)、「DX銘柄2022」に選定(2022年6月)
- ソリューションの事業化
 - ・ 輸送デジタルプラットフォーム SSCV-Smart提供開始(2020年10月) SSCV-Safety提供開始(2021年7月)
 - ・ サプライチェーンデジタルプラットフォーム SCDOSの提供開始(2019年9月)
- SSCV-Safetyに関する特許取得(2020年3月、6月、2022年2月)
- RCS(Resource Control System)に関する特許取得(2021年4月)
- 5Gによる物流高度化実証開始(2019年10月)



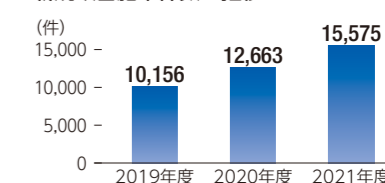
4 次世代につながるオペレーションオリジン(現場主義)とその継承

■ VC活動^{※1}の推進

日立物流グループでは、HB Wayを実践する日々の改善活動として、「VC活動」に取り組んでいます。事業所、部署ごとに従業員がさまざまなテーマでアイデアを出し合い、専用システムに施策を登録し、改善活動を計画的に実行・フォローするというサイクルを継続しています。当中期経営計画期間中には約38,000件の新規改善施策が登録されました。

※1: Value Change & Creationの略。HB Wayを実践する日々の改善活動のこと

新規改善施策件数の推移



5 環境・社会・ガバナンスと企業倫理

- 「日立物流グループ環境中長期目標」の更新(2020年度)
- 国連グローバル・コンパクトへの署名(2020年5月)
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同(2021年9月)
- 「Myじんけん宣言」プロジェクトに参画(2021年7月)
- CDP気候変動レポート2021 「A-」評価獲得(2年連続)(2021年12月)

2030年度目標	CO ₂ 排出量50%削減(2013年度比)
2050年度目標	カーボンネットゼロ

LOGISTEED2021の成果

- 強固なコア領域としてのスマートロジスティクス領域を構築するための、ポートフォリオ戦略の実行
- さらなる領域拡大へとつなげる協創戦略の実行

積み残した課題

- グローバルでの盤石な経営基盤の構築